

街がつながり 人がつながる 暮らしが変わる 交通未来都市うつのみや

皆さんは日常生活の中で公共交通を利用していますか？

現在、本市では、交通施策の指針となる「宇都宮都市交通戦略」を改定しています。
今後、新たな都市交通戦略に掲げる事業に取り組むことにより、本市の交通が変わっていきます。
今回は10年後の将来に焦点を当てて、変わっていく宇都宮の交通を紹介します。



もっと深く

広報 **うつのみや+**

宇都宮情報

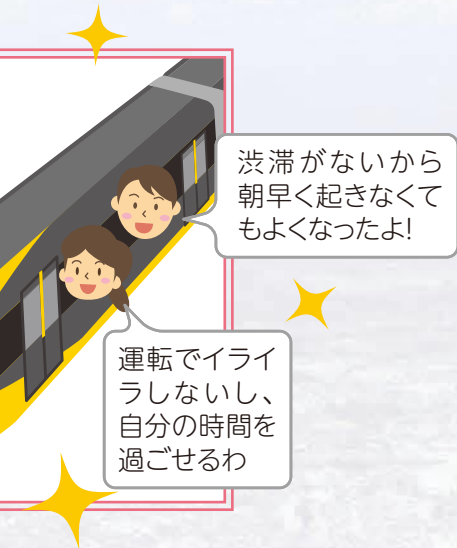
テーマに対するご意見を
アイデア通信(7ページ)
でお寄せください。

▲本市の描く10年後の公共交通

通の10年後

宇都宮の「交通」は、これからどのように変わっていくのか。

郊外部と中心部に分けて、宇都宮の10年後の姿を見てみましょう。



ポイント

01 LRTで移動時間を有効に!

定時性の高いLRTを導入することで、通勤時間の目安を立てやすくなります。

また、基幹公共交通であるLRTを導入することで、階層性のある効率的な公共交通ネットワークを構築します。

現在



10年後

お得に乗れるから、気軽に利用できるようになったよ



ポイント

03 公共交通をもっとお得に!

バス運賃の上限額の設定やLRTとバス、地域内交通の乗り継ぎ割引の実施で、金銭的な負担を減らします。

2

現在



10年後

バスにもスムーズに乗り継げるし、意外とお財布にも優しいな



ポイント

05 「地域内交通」×「バス」=手軽にお出掛け!

病院やスーパーなど地域の身近な施設を地域内交通で利用できます。

また、地域内交通とバスを乗り継いで市内を快適に移動できるよう、乗り継ぎ割引や乗り継ぐバス停へのバス接近表示機の整備などを実施します。

郊外部 宇都宮の交

全部の公共交通が一枚のICカードで乗れるから楽だな

10年後

現在

通勤のために朝早く起きないといけないし、運転中は渋滞でイライラするし、時間を有意義に使えていないなあ



家族の送迎が大変だわ



朝や夜遅くにバスがもっと欲しいわ

もっとバスの本数が多いと便利だな

現在



今度の飲み会、帰りはどうしよう…

10年後

朝のバスが増えて、バスを降りてからの余裕ができたわ



遅くまでバスがあるから楽しく飲めるなあ

ポイント

02

朝早くから夜遅くまでバスに乗れます!

移動の実態を踏まえ、深夜バスや早朝バスの運行など、幹線バスの運行時間帯を拡大するとともに、増便します。

現在

〇〇駅

宇都宮駅よりバスの本数が少ないから、乗り継ぎが不便だなあ

10年後

家族に送迎してもらわなくて済むのはうれしいね

電車で出掛ける時もバスで駅まで行くことが増えたね



ポイント

04

電車との乗り継ぎがもっとスムーズに!

乗り継ぎ円滑化のため、鉄道のダイヤを踏まえたバスの運行ダイヤの編成やバス路線の新設・増便をします。

通の10年後

10年後

バスがいつ来るのか分かると不安にならずに待てるね

BUS INFORMATION

85	〇〇〇行き	6分	15:20	9
80	△△△行き	14分	15:25	9
12	□□□行き	35分	15:12	9
80	〇〇〇行き	58分	15:30	9
0	△〇△行き	6分	15:40	9

ポイント

06

「次のバスはいつ来る？」を簡単にチェック!

運行状況を確認できるバス接近表示機を、主要なバス停に設置します。

また、バス停まで行かなくてもスマートフォンやパソコンなどでも手軽に確認できます。

行き交う人が増えてうれしいな

ポイント

07

交通が快適で、にぎやかな街なかに!

JR宇都宮駅周辺の再整備をはじめ、LRTや鉄道、幹線バスの乗り継ぎ施設を作り、にぎわいにつながる機能を集めます。

これにより、市内外から多くの人を訪れる魅力あふれる中心市街地が形成されます。

日が待ち遠しい!

の交通ICカード

バスは2021年、LRTは2022年導入予定!

宇都宮地域のICカード 5つの「うれしい!」

うれしい!

1 複数の公共交通の定期券を1枚に集約

鉄道やLRT、バスの定期券を1枚のICカードに集約することで、たくさんの定期券を持たずに済み、複数の公共交通を便利に乗り継ぐことができます。

うれしい!

2 上限運賃制度や乗り継ぎ割引が適用

公共交通を利用した際には、運賃負担を軽減する上限運賃制度や乗り継ぎ割引が適用され、よりお得に便利に公共交通を利用できます。

うれしい!

3 ポイントが貯まる・使える

公共交通を利用した際の支払い額に応じてポイントが付きます。ポイントは運賃の支払いに使えます。

POINT

うれしい!

4 買い物もできる

Suicaなどの交通系ICカードで買い物ができる店舗で、同様に支払いができます。



うれしい!

5 高齢者外出支援事業や精神障がい者通院費助成事業のサービスを受けられる

公共交通の運賃支払いに使える福祉ポイントが付きます。(ICカードをお持ちでない場合は、行政窓口でポイントの付与と併せてICカードの交付もできます。)

中心部 宇都宮の交

現在



5

使えるようになる

全国初

宇都宮地域

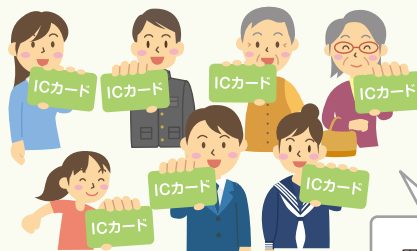
ICカードがつなぐ公共交通

運賃の支払いもラクラクでお財布いらず！
運賃支払いに利用できるポイントも貯まってお得に利用できる！



みんながICカードを使えば公共交通の定時性も向上してより便利で使いやすいネットワークに！

宇都宮地域のICカード

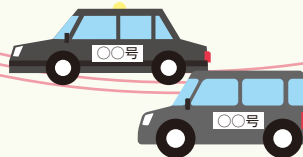


乗り継ぎも楽ちんでお得！

スイカ Suicaでも宇都宮地域の公共交通が利用できる！



買い物の支払いにも使える！



※全国の主要都市などで、公共交通への乗車や買い物の際に利用できるSuicaに、LRTやバスの定期券、高齢者外出支援、各種割引などの地域独自サービスの機能を付加した全国初の「地域連携ICカード」の導入を目指しています。

特別対談

新たな公共交通ネットワークが、10年後の宇都宮を変えていく

早稲田大学理工学術院教授

横浜国立大学理事・副学長

森本 章倫 × 中村 文彦

LRT導入を契機として
分かりやすい公共交通へ

―まず、宇都宮の公共交通の課題
についてどうお考えでしょうか。

中村 宇都宮を含め、地方都市の多くは、普段から公共交通を利用していない人にとって、分かりにくく、使いづらいのが現状です。ICカードで全ての公共交通に乗れる、これに乗ればどこでも行けるなど、分かりやすく安心感のある交通手段であることは重要です。

森本 新たな利用者を獲得していくことは、今後も公共交通を維持していくには重要ですね。

中村 その点で言うと、LRTはチャンスですね。とにかくLRTに乗れば、宇都宮の東側に、大学に、ショッピングセンターに、スタジアムに行けるといふインパクトや分かりやすさがあります。

公共交通網の整備がまちを
変える、経済をけん引する

―今後の宇都宮を考えていく上で、
公共交通を充実させる意義は何で
しょうか。

森本 宇都宮の歴史を振り返ると、まずは徒歩から鉄道中心の時代になり、鉄道駅周辺が発展し、自動

6

車中心の時代には、宇都宮環状道路などが造られ、道路を中心に発展してきました。つまり、新たな交通手段が都市構造を変えてきたのです。そのため、今後、LRTの導入やバス路線の再編など、公共交通が発達することによって、次世代の交通によるまちづくりが進展していくと考えられます。

中村 LRTの導入やバスの再編によって、市全体の公共交通のサービスの水準も上がりますよね。あとは、乗り継ぎに対する拒否反応を超えられるかも大切です。

例えば、ブラジルのクリチバ市の乗り継ぎ拠点では、ショッピングセンターがあり、公共施設などが隣接しています。買い物ができ、乗り継ぐ人が楽しくなる、乗り継ぎに付加価値をつける発想があります。実際に、みんなバスを一本

見送っている（笑）。そこまでいくと、余計なことだった乗り継ぎが苦ではなくなります。

森本 宇都宮だとトランジットセンターになるでしょうか。待ち時間を過ごすことも目的に含まれると素晴らしいですね。車であれば素通りしてしまうのに対し、必ず人が立ち止まるということはビジネスチャンスですね。

中村 他都市でも、公共交通の乗り継ぎ地点に店ができて、市場ができてと、交通が経済活動を引っ張ることはありますね。

自動運転社会で
車は所有からシェアへ

―自動運転といった新たな技術も
出現してきています。

森本 自動運転などの新技術を活用すれば、今よりずっと安全性が



森本 章倫

宇都宮大学教授、マサチューセッツ工科大学研究員などを経て2014年から現職。専門は交通計画、都市計画など。



中村 文彦
アジア工科大学院助教授として海外派遣、横浜国立大学大学院助教授などを経て2015年から現職。専門は都市交通計画など。

高まり、業務ドライバー不足が解消されるなど、なかなか達成できなかった課題を解決できるようになりますね。

中村 はい。しかし、安全性の確保のため、大量の高性能センサーが必要になるなど、費用が掛かります。運転手がいない自動運転車両の個人所有は当分の間、コスト面で難しいと思います。10年後はまだまだ一般には普及していませんでしょうね。

森本 利用の形態としては、個人の所有ではなく、シェアするようになるかもしれません。いつか公共交通と個別交通の境目がなくなる可能性がありますね。

を形成していくことは、最新技術の利用機会の提供という点でも必要なことですね。

市民のみさんの利用拡大が使い勝手のよい交通を作る第一歩

―読者である市民の皆さんに期待することはありますか。

森本 やはり不便なものは使わないものです。無理のない選択をするのと良いと思います。

中村 その一方で、公共交通は使う人が少なければサービス水準を維持しにくくなることも頭の片隅に置いてほしいですね。

森本 公共交通を全く使わない人が多いのですが、これは逆に考えるとチャンスです。例えば、一カ月だけでも、飲み会の時に使ってもらうだけで、みんなが使うと仮定すると、プラスのスパイラルが生ま

7

アイデア通信

「交通未来都市うつのみや」について私はこう考えます

1 バスなどの公共交通を利用する際に重要だと思うものは何ですか？(3つまで○をつけてください)

- ① 時間通りに着くこと
- ② 早く移動できること
- ③ 運賃が安いこと
- ④ 混雑していないこと
- ⑤ 家の近くから乗れること
- ⑥ 運行本数が多いこと
- ⑦ バリアフリーであること
- ⑧ 乗り継ぎが便利なこと
- ⑨ その他

[]

2 公共交通で便利に移動できる「交通未来都市うつのみや」に期待することを教えてください。

[]

れ、サービスも向上していきます。

中村 公共交通を継続して利用するには、使い勝手が良いことがポイントですね。

どのような状況で誰に乗ってもらうのか、ターゲットを絞り、必要な人に使ってもらえる公共交通であること。また、利用の傾向が異なるので、車両の大きさやルート、運行ダイヤなどを平日と休日に分けて考えることが必要です。その上で、実際に公共交通を利用してもらうことが使い勝手の良い公共交通へつながるスパイラルを加速させるのだと思います。

◀あなたの意見をお寄せください

市民の皆さんから、「交通未来都市うつのみや」についての意見・提案をお受けします。寄せられた意見・提案などは、施策の参考とします。なお、一部を後日、広報紙で紹介します。質問などへの回答は、直接本人あてに返信しませんので、ご了承ください。

左のはがき(切手不要)を切り取り、3月18日(月)までにポストに投函してください。他のはがきや手紙・ファクス・Eメール・市ホームページのアンケート(携帯サイト含む)でも受け付けます。

送付先
〒320-8540市役所総合政策部広報広聴課
☎(632) 2025、☎(639) 0627
Eメール: u2030@city.utsunomiya.tochigi.jp

広報うつのみやプラス「交通未来都市うつのみや」についての問い合わせ先
総合政策部交通政策課
☎(632) 2134、☎(632) 5426
Eメール: u2015@city.utsunomiya.tochigi.jp

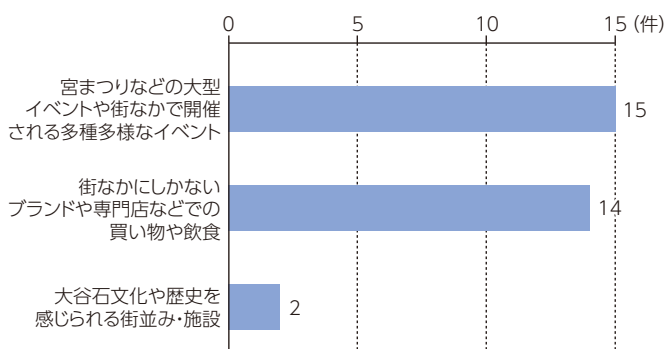


▲QRコード
※一部の機種で表示されない場合があります。



前回の広報うつのみやプラス「街なかのにぎわい復活へ」に対して、40人の市民の皆さんからご意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

(1) あなたが街なかに行く目的やきっかけは何ですか？
(当てはまる番号に○を付ける)



■その他の主なご意見

- ▽人が多く、活気がある街なかへ行くと元気がもらえる(下栗町・30代)。
- ▽街なかに住んでいるため、ランチやカフェでゆっくり過ごすために外出する。
- ▽毎週・毎月必ず行われるイベントが楽しみ。歩きながらの発見も子どもと一緒に楽しめる。
- ▽若い頃以来、街なかへ行っていないが、活気が戻ったことを知り、行きたくなった(築瀬町・50代)。
- ▽街なかには、バスで買い物やランチ、勉強会などに来ている。同年代の人々と交流できるお店が欲しい(川田町・70代)。
- ▽LRTの導入に伴い、公共交通を利用し、お酒を楽しむスポットの開発をしてもらいたい(陽東・70代)。

(2) 今後、さらに街なかのにぎわいを作り出すために、あなたが必要だと思うものは何ですか？

- ▽街並みを美しくすること(70代)。
- ▽餃子祭りの年2回の開催。
- ▽餃子祭り以外の目玉となる食のイベントの開催(金田町・30代)。
- ▽東京都の戸越銀座のような生活に欠かせない小売店の誘致(中央・30代)。
- ▽埼玉県の川越のように、食べ歩きができたり、お土産が買える密集地をつくる(東峰町・30代)。
- ▽ディスカウント店が多くできるとよい(駒生町・40代)。
- ▽老人施設や学校関係施設が街なかに立地することで、自然と人の足が向かうようになる(江曾島町・60代)。
- ▽多くの人とコミュニケーションが取れるイベントの開催。足が丈夫な高齢者が多いので、とにかく外に出る機会をつくってほしい(川田町・70代)。
- ▽広い無料の駐車場。
- ▽JR宇都宮駅と東武宇都宮駅をLRTでつなぐ(築瀬町・50代)。

前回の広報うつのみやプラス「街なかのにぎわい復活へ」の概要



今、街なかのにぎわいは？

本市の顔として、市全体の発展に大きな役割を担ってきた中心市街地。自家用車の保有率が高い本市では、近年、人の流れなどが郊外の大型ショッピングモールへ移っていきました。一時は消えていた「街なかのにぎわい」ですが、ここ数年、イベント広場の整備やオープンカフェなど、さまざまな事業の実施により、数多くのイベントが開催されるとともに、新たな店舗の出店が相次ぎ、「週末」や「夜間」を中心にかつての活気を取り戻しつつあります。

これからは「平日昼間」の強化がキーポイント

今後課題となってくるのが、「平日昼間」のにぎわいです。現在、街なかではマンションの建設が進み、日常生活を送る人が増えてきていることから、住む人が快適に過ごすための取り組みや、街なかに来るすべての人も憩えるような空間づくり、歩いてみたくなる仕掛けづくりが「鍵」となってきます。今後は、ユニオン通り・オリオンスクエアの整備や、土地の有効活用方策の検討などを進め、魅力あるエリアやスポットが数多く集まる「宇都宮の顔」としてふさわしいまちに近づけていくことが必要です。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年に数回編集します。

郵便はがき



3 2 0 8 7 4 0

差出有効期間
2020年8月
15日まで
【切手不要】

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。